

 **社会新報**

発行所：
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊（水曜日発行）
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17
電話 代表 03(3553)3787
●振替00140-1-3203 ●定価180円
●1ヶ月700円 ●送料164円

号 外



ネットワーク

NO.84

2018

6月号

〒746-0082 周南市大字下上上野2093-3 ☎63-5769



向道湖第62回マラソン大会にて



第21回石船温泉さくらまつりにて

大変感激しました!!

向道湖マラソン大会、 半世紀ぶりに議長の立場で挨拶

職務にあたり、今まで経験したことの無い新鮮な出来事にも接することができ、充実した毎日を過ごさせていただいております。

新年度、4月の行事出席をリストアップしてみると、徳山大学の入学式、地区連合自治会総会、ふくがわこども園開園式、石船温泉さくらまつり、大相撲周南場所実行委員会、向道湖マラソン大会とそれぞれジャンルの違う行事への出席で少し緊張する場面もありました。

大相撲巡業が周南市で行われるのは2009年以来で、今年の10月28日に開催

されます。立田川親方にお会いしましたが、その手の大きさに圧倒されました。

向道湖マラソン大会には私も中学校時代に参加しました。今回で62回目となるそうで、実に半世紀ぶりに、今回は議長という立場で挨拶をすることになり大変感激しました。

これからいろいろな経験をさせてもらうこととなりますが、初心を忘れず、常に議員としての仕事をするということを肝に銘じて活動していきます。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

周南市下上上野2093-3

周南市議会議員 小林 雄二

国への要望3項目を可決

■周南（徳山）■ 県市議会議長会



西島議長に表彰状を渡す小林議長（左）

県市議会議長会の総長がこの日まで同会の会が6日、周南市遠石の遠石会館で開かれ、国に対する要望の議案審議や議員の表彰、役員互選などがあり、会員のあとは新徳山駅ビルの徳山駅前賑わい交流施設を視察した。

周南市の小林雄二議長は、各1議案が出され、下関市の「地方議会への女性の参画を拡大するた

め支援」▽周南市の「地方創生に向けた取り組みの延長と施策の根本的な見直し」▽長門市の「山陰自動車道の建設促進」を可決した。これらは中国市議会議長会へ提出する。

岩国市が提出した「沖縄の基地負担軽減に関する決議（案）の議案は継続審議となった。

今年度の役員を互選し、会長に長門市の武田新二議長、副会長に光市の木村信秀議長、監事に柳井、下関市の議長をそれぞれ選んだ。

表彰は議員や正副議長を長年務めた計37人で、小林議長が正副議長4年以上の西島孝一、萩市議会議長に代表して表彰状を手渡した。

河内裕文、藤井洋

は、意見として①国防に係る事柄であるから、本来は国が責任をもって果たす内容であること。②米軍基地や自衛隊基地が当該市にあり、これまで様々な角度から議論されてきた自治体ばかりではないこと。③提出された岩国市議会の中でもこの決議（案）について、7名の反対の議員がおられるとの話があったが、少数の意見も尊重するのが議会制民主主義ではないか。全会一致という原則をぜひとも守っていただきたい。

④沖縄の基地負担軽減に関する決議（案）の案文中、「日本国内の米軍基地が果たしている役割は非常に重要な位置づけがある」というところと「負担を分かち合っていくこと」の2点について疑義があり、

平成30年度第84回山口県市議長会定期総会（平成29年度山口県市議会議長会会長 周南市議会議長 小林雄二）が、平成30年4月6日（金）周南市遠石会館にて開催される。

岩国市議会から提出された「沖縄の基地負担軽減に関する決議（案）」については継続審査となった。

岩国市議会から提出された「沖縄の基地負担軽減に関する決議（案）」について

これを削除すれば他議会でも可決の見通しが高いのではないかと。⑤決議（案）は全会一致が原則であるが、重要な案件については賛成多数としたこともある。そうした特別な状況についてはその都度諮って決めてはどうか。

⑥決議（案）提出市議会の思いは尊重したいが、地元基地があるなしで温度差もある。提出市議会でも調整され、修正や継続審査等を含めて検討し、皆が賛成しやすい状況をつくってはどうか。

⑦決議（案）提出市議会では修正してでもこの場で通したいとのことだったので、協議して通していくのがいいのではないかと。との意見が出され、これらの意見を踏まえ、「継続審査」の動議が提出され、起立評決の結果、賛否同数（12対12）となりました。

よって、会則第13条第3項の規定により、議長において「継続審査」とすることについての可否が裁決され、議長は可決し、「継続審査」とすることに決定しました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

周南市における人口の現状分析を踏まえた今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的に取り組む事業が取りまとめられました。（2015年度から2019年度までの5年間）

本市は社会減である転出超過が続いているが、女性は20～24歳と15～19歳に集中し、男性より多くなっている。転出者が多い20～24歳から15～19歳ま

でを合計すると、年間の転出者超過数は、男性105人に対して女性は173人に上り、女性は男性の1.7倍に達する。

就業者数の推移

業種別の従業員数について、2012年（平成24年）のデータを見ると、製造業、建設業・運輸業など、男性が80％以上を占める業種の集積度が高いことがわかる。一方、女性の従業員数が多い、小売業、飲食店、医療業・保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業、教育・学習支援授業などの業種では、医療業・保健衛生を除いて特化係数（業種ごとの従業員数割合を全国の割合で除した値）が低い傾向にあり、男性と比較すると、女性が働いている業種の雇用機会が限られていると考えられる。

周南市、出産・子育て期の女性の働きやすさについての検討が必要

2005年（平成17年）から2010年（平成22年）にかけて、周南市の女性就業率は、20歳から59歳未満のすべての年齢階層で上昇がみられた。

ただし、2010年（平成22年）においても、20～24歳の就業率が高く、子育て期にあたる30歳代にいったん就業率が低下するはっきりしたM字カーブが表れており、全国と比較すると、20歳代後半、30歳代の就業率は全国値を大きく下回り、40歳代の就業率は全国と同程度であることから、出産・子育て期の女性の働きやすさについての検討が必要と考えられる。

特徴は基幹産業を核とした 産業関連の連携

周南市はコンビナートの生産活動そのものが産業・企業間の連携であると同時に、運輸や対事業所サービスなどの他産業とも連携することにより市外に誇れる産業活動が行われている。

将来への方向性

周南市の人口動態の現状は、社会減と自然減が同時に進行しており、社会減の大きな特徴として、若い世代が就職を機に県外へ流出している現状がある。

特に、女性の流出数が多くなっており、若い世代の女性数の減少は、自然減の大きな要因である出生数の減少にも大きく影響してくる。若い世代に周南市に定住してもらうためには希望する職に就き、安心して安定的に暮らしていくことのできる環境が必要となる。

そのために、まちの魅力の向上を図るのは勿論、以下の点について、若者や女性が希望する雇用の確保及び新たな雇用創出の取り組みや支援を積極的に展開する必要がある。

- ① 安定した雇用を生む環境をつくり、若い世代の定住希望をかなえる
- ② 若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
- ③ 地域資源を生かし、次世代につなぐ魅力あふれるまちをつくる

地域高規格道路「周南道路」 要望活動について

周南地域は、下松市、周南市、光市、田布施町の3市1町による「地域集積圏」を形成し、主要な交通拠点と企業集積拠点等を結ぶ、延長約30kmの地域高規格道路「周南道路」は、平成10年6月に「候補路線」に指定されています。

港湾計画においても、「徳山下松港」は西日本地域の国際物流拠点・防災拠点に位置づけられるなど、周南地域にとって物流基盤強化と港湾機能との連携が重要であり、そのためにも「周南道路」は極めて重要な「候補路線」です。

今年、周南道路建設促進期成同盟会の監事という立場で国土交通省などに周南道路早期建設の要望活動を行いました。

徳山下松港PRポイント

- ・ 港湾区域面積 全国第5位（2016年4月時点）
- ・ 総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定
- ・ 臨海部産業エリア形成促進港に指定（全国初）
- ・ 国際バルク戦略港湾（石炭）に選定
- ・ 県下最大水深の公共岸壁（-14m）
- ・ 原塩・薪炭輸入量 全国第1位
- ・ 石油製品輸入量 全国第2位
- ・ 石灰石移入量 全国第1位
- ・ 再利用資材・金属くず 全国第2位
- ・ 石炭移出量 全国第1位
- ・ セメント・化学薬品移出量 全国第2位
（以上、平成27年港湾統計より）
- ・ 中四国地方初、水素ステーションを設置（2015年）

**どんな事でも
ご相談ください**

《連絡先》TEL 0834-63-5769

小林 雄二

